

新領域
物質系専攻

益田研究室



中性子を使うことで、物質中の低エネルギー領域の**素励起**（スピノン、マグノン、フォノンなど）と**スピン構造**を直接的に観測することができます。私たちの研究室では、**強相関電子系、スピン系**などにおける**新しい量子現象**の探索を、**中性子散乱・物質合成・バルク物性測定**の3つの手法を用いて研究しています。

准教授 益田隆嗣

実験手法

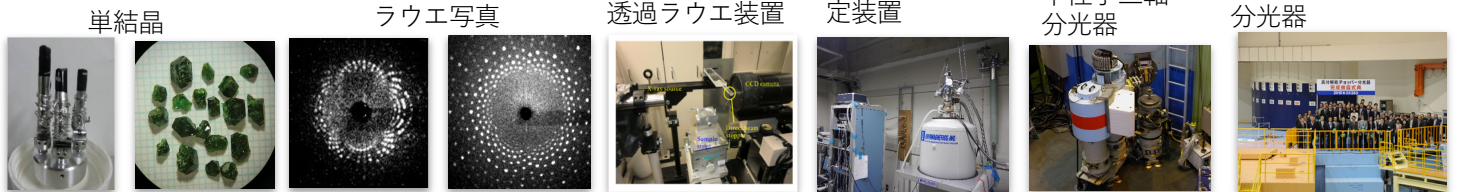
✓物質探索・結晶育成
モデル物質や新規物質の探索
きれいで大きな結晶を作る職人芸

✓バルク物性測定
磁化率、比熱などの物性測定
系のマクロな性質を調べる

✓中性子散乱 ～謎解き～
スピンの構造とダイナミクス
磁性現象のメカニズムに迫る

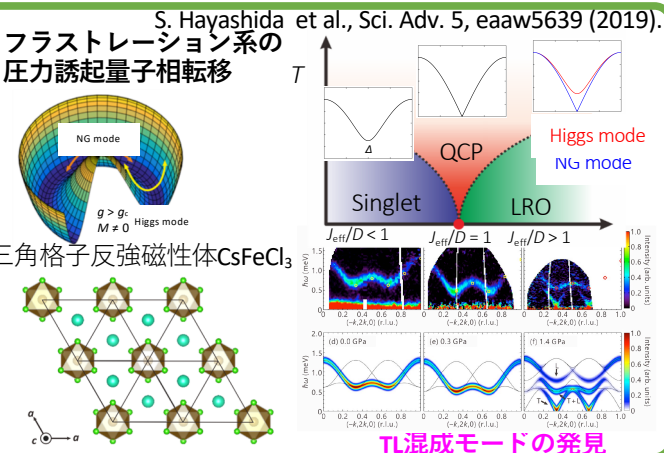
高エネルギーX線透過ラウエ装置 14T比熱測定装置

中性子三軸分光器 中性子チョッパー分光器

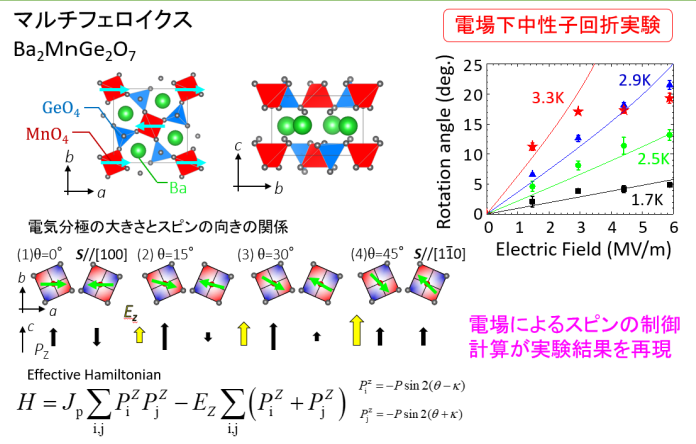


研究テーマ例

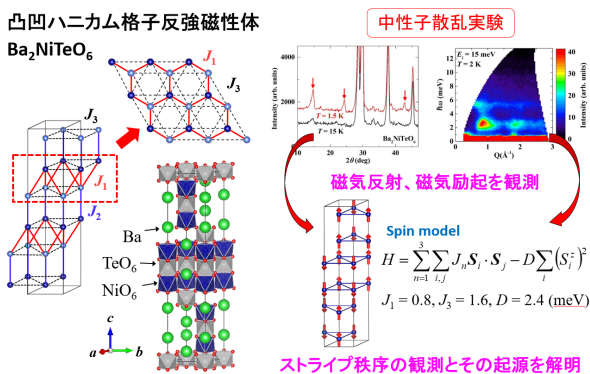
フラストレーション系の圧力誘起量子相転移



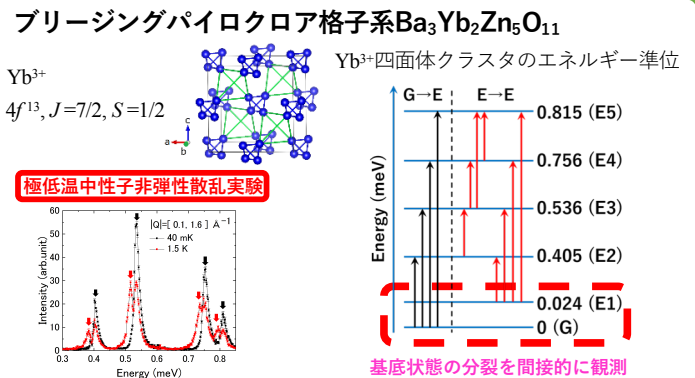
非共役な磁性と誘電性の物理



フラストレート磁性体の新奇的な磁気状態



正四面体スピンによる熱力学への挑戦



メンバー (2020年度)



海外実験

